

アンケート

中小企業の元気は鳴門市の元気！！

経営者の皆様のご意見をお聴かせください。

鳴門市中小企業振興基本調査



アンケート調査へのご協力をお願い



人口減少や少子高齢化が進む中、活力ある鳴門づくりのためには、市内企業の大部分を占め地域にとって重要な役割を担う中小企業の振興が必要不可欠です。

本調査は、事業所の皆様のご意向を中小企業振興に反映するとともに中小企業振興基本条例（仮称）策定に向けた基礎調査として実施するものです。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートの回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年5月

鳴門市経済建設部経済局商工政策課

調査票の記入にあたって

このアンケートの結果は、上記の目的以外には使用しません。また、アンケートの回答は、すべて統計的に処理し、各事業主の方の回答が外に出ることはありませんのでありのままご記入ください。

- ① このアンケートの対象となられる方は、鳴門市に事業所を持つ事業主の方から無作為に抽出しました。
- ② アンケート調査票にご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、

平成26年6月20日（金）までにポストにご投函ください。（切手は不要です。）

※期日までに返信がない場合お電話させていただく場合がありますのでご了承ください。

【お問い合わせ先】鳴門市経済建設部経済局商工政策課 電話 088-684-1468

目 次

1. 事業所の状況について	1
2. 事業所の強みについて	4
3. 事業所の課題について	5
4. 人材に関することについて	6
5. 売上・収益に関することについて	8
6. 今後の事業展開について	9
7. 中小企業支援について	10
8. 鳴門市の立地環境について	11
9. 中小企業振興基本条例について	12

貴社名・ご担当者についてご記入ください。

貴社名	
役職	
名前	
電話番号	
メールアドレス	<p>※希望する場合、ご記入いただいたメールアドレスに市・県・国などの中小企業支援施策（補助金や各種セミナー情報など）の情報を送付させていただきます。どちらかを○で囲んでください。</p> <p>1.希望する 2.希望しない</p>

1 事業所の状況についておうかがいします。

ア～スのそれぞれの項目について、該当する番号を選び○で囲んでください。
 イー2、オ、スについては、質問内容について回答をご記入ください。

項目	選択肢
ア 事業形態	1. 個人 2. 法人
イー1 業種	1.農業・林業 2.漁業 3.鉱業・採石業・砂利採取業 4.建設業 5.製造業 6.電気・ガス・熱供給・水道業 7.情報通信業 8.運輸業・郵便業 9.卸売業・小売業 10.金融業・保険業 11.不動産業・物品貸借業 12.学術研究、専門・技術サービス業 13.宿泊業・飲食サービス業 14.生活関連サービス業・娯楽業 15.教育・学習支援業 16.サービス業 17.その他（ ）
イー2 事業内容	イー1で選択した業種について詳細な業務内容をご記入ください []
ウ 現在所属している 団体	1.商工会議所・商工会 2.業界団体(名称:) 3.異業種交流会(名称:) 4.工業団地等の連絡会 5.地域自治会 6.その他(名称:) 7.所属している団体はない
エ 資本金	1. 個人事業主 2. 500万円以下 3. 500万円超～1千万円以下 4. 1千万円超～3千万円以下 5. 3千万円超～5千万円以下 6. 5千万円超～1億円以下 7. 1億円超
オ 従業員数とその内 訳(正社員・パート、アルバイ ト) H26年4月末現在	鳴門市内事業所 正社員 人 パート・アルバイト 人 鳴門市外事業所 正社員 人 パート・アルバイト 人

カ 5年前と比較した 従業員数とその要因	1.増加 2.現状維持 3.減少 要因 ()
キ 平成27年4月以 降の採用予定	1.あり 2.なし 1.ありを選択した場合今後5年間の採用予定人数 ()人
ク 事業を行ってきた 年数	1. 5年未満 2. 5年～10年未満 3. 10年～20年未満 4. 20年～40年未満 5. 40年～80年未満 6. 80年以上
ケ 前期の売上高	1. 1,000万円未満 2. 1,000万円～5,000万円未満 3. 5,000万円～1億円未満 4. 1億円～5億円未満 5. 5億円～10億円未満 6. 10億円～30億円未満 7. 30億円以上
コ 5年前と比較した 売上状況とその要因	(1) 売り上げ 1. 増加 2. 変わらない 3. 減少 要因 () (2) 販売・受注量 1. 増加 2. 変わらない 3. 減少 要因 () (3) 販売・受注単価 1. 上昇 2. 変わらない 3. 下落 要因 ()
サ 5年前と比較した 経常利益とその要因	(1) 経常利益 1. 増加 2. 変わらない 3. 減少 要因 ()
シ 主な販売・仕入先	(1) 販売先 1.大手・中堅メーカー 2.中小・小規模メーカー 3.小売・サービス業 4.卸売業・代理店 5.官公庁・大学 6.その他 ()

2 事業所の強みについておうかがいします。

問1 貴事業所の強みを次の中から選び、番号を○で囲んでください。(○は3つまで。)



1.品質 2.価格・コスト 3.多品種 4.特注品 5.技術力

6.企画開発力 7.営業力 8.新技術・ノウハウの投入速度

9.ネットワーク 10.競争相手の少なさ 11.従業員・後継者の優秀さ

12.財務体質の強さ・資金調達力

13. その他 ()

問2 問1で選んだ強みをさらに伸ばすために行政や金融機関、大学、商工団体などの支援が必要ですか。必要な場合は、問1で選んだ選択番号ごとにどのような機関の支援が必要かご記入ください。

1. 必要

2. 必要ない

選択番号	機関名	支援

3 事業所の課題についておうかがいします。

問1 現在、貴事業所で経営上の課題となっている事柄を次の中から選び、番号を○で囲んでください。（○は3つまで。）

- 1.資金繰り改善 2.販路の拡大 3.新製品・サービス・事業の開発 4.設備投資
 5.技術力向上 6.人材の確保・育成 7.製品・サービスのコスト低減 8.人件費の抑制
 9.不採算事業の立て直し・撤退 10.情報発信 11.営業力
 12.特になし 13.その他（ ）

問2 問1で選んだ課題に対して行政や金融機関、大学、商工団体などの支援が必要ですか。必要な場合は、問1で選んだ選択番号ごとにどのような機関の支援が必要かご記入ください。

1. 必要 2. 必要ない

選択番号	機 関 名	取 り 組 み

問3 課題解決に向けて同業種や異業種の事業所との連携に興味はありますか。

- 1.有 2.無

問4 問3で有と答えた方におうかがいします。貴事業所が希望する連携相手について次の中から選び、番号を○で囲んでください。（○はいくつでも可能。）また、選択番号ごとに連携の内容についてご記入ください。

- 1.同業種の中小企業
 2.異業種の中小企業（業種： ）
 3.大企業 4.その他（ ）



選択番号	連 携 の 内 容

4 人材に関することについておうかがいします。

問1 現在、事業に必要な人材は確保できていますか。

- 1.確保できている 2.確保できていない

問2 貴事業所で不足している人材の分野は何ですか。

次の中から選び、番号を○で囲んでください。(○は3つまで。)



- | | | |
|---|----------|-------------|
| 1. 営業 | 2. 財務 | 3. 経営幹部・後継者 |
| 4. 現場・作業 | 5. 総務・人事 | 6. 法律・リスク管理 |
| 7. IT | 8. 海外取引 | 9. 研究開発 |
| 10. 人材の不足なし | | |
| 11. その他() | | |

問3 貴事業所で今後確保していきたい人材はどういった人材ですか。

次の中から選び、番号を○で囲んでください。(○は3つまで。)

1. 若手・新入社員 2. 中堅社員 3. 管理 4. パート・アルバイト等 5. OB 人材
6. 当面確保を予定していない

問4 人材の確保について問題点は何ですか。
次の中から選び、番号を○で囲んでください。(○は3つまで。)

- 1.事業継承(後継者問題) 2.従業員の定着率 3.人員不足(募集しても集まらない)
4.指導者の不足 5.指導時間の不足 6.従業員の高齢化 7.従業員の過剰
8.PR不足 9.待遇・労働環境の整備・改善 10.特になし
11.その他()

問5 問4において1. 事業継承(後継者問題)を選んだ方におうかがいします。決まっていない理由は、何ですか。次の中から選び、番号を一つ○で囲んでください。

- 1.候補はいるがまだ若い 2.候補者がいない 3.候補が複数いる
4.特になし
5.その他()

問6 人材の育成や技術の維持・向上のために必要と思われる取り組みは何ですか。次の中から選び、番号を○で囲んでください。(○は3つまで。)

- 1.熟練技術・技能の標準化・マニュアル化 2.熟練技術・技能の機械化・IT化での代替
3.企業内での日常業務における教育訓練(OJT)
4.通常の業務を一時的に離れて行う教育訓練(OFF-JT)
5.社内での研修の実施 6.資格取得の支援 7.自己啓発のための金銭的・時間的支援
8.定年延長 9.熟練技術・技能を要する業務の外部委託 10.外部企業等との連携
11. 特になし
12.その他()

5 売上・収益に関することについておうかがいします。

問1 売上・収益の拡大を図るためには何が重要と考えますか。
次の中から選び、番号を○で囲んでください。(○は3つまで。)

1. 既存製品・サービスの高付加価値化
2. 新製品・新サービス・事業の開発
3. 顧客ニーズに対するきめ細やかな対応
4. 価格競争力の強化
5. 営業・販売体制の見直し・強化
6. 宣伝広告の強化
7. 海外市場の獲得
8. 新分野への進出
9. 設備投資
10. リピーターの獲得
11. 新規顧客開拓
12. 特になし
13. その他 ()

問2 問1において2. 新製品・新サービス・事業の開発を選んだ方にお伺いします。新製品等を開発するためには何が重要と考えますか。次の中から選び、番号を○で囲んでください。(○は3つまで。)



1. 市場調査・分析などのマーケティング
2. 高度な技術力
3. アイデア・発想
4. 経営者の意思
5. 従業員の意欲
6. 大学等の活用
7. 企業間連携
9. 人脈・相談できる仲間
10. 専門分野等の人材
11. ITの活用
12. 設備投資
13. 特になし
14. その他 ()

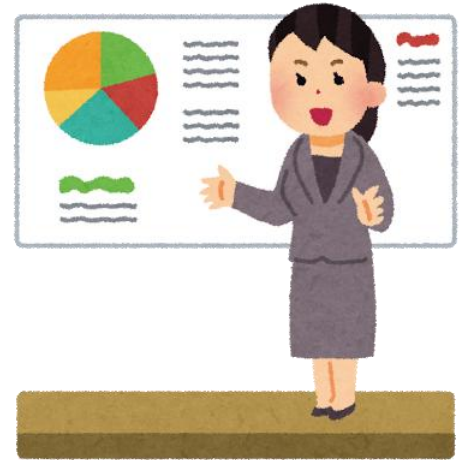
問3 コスト低減の為の取組として何が必要だと考えますか。また取り組んでできましたか。次の中から選び、番号を○で囲んでください。(○は3つまで。)

1. 人件費の削減
2. 生産工程の見直し
3. 在庫管理の徹底
4. 歩止まり率の向上
5. IT化への対応
6. 使用電力の削減
7. 製造設備の更新
8. 仕入価格の交渉
9. 仕入先の変更
10. 輸送手段の見直し
11. 特になし
12. その他 ()

6 今後の事業展開についておうかがいします。

問1 今後の事業展開についてどのように考えていますか。
次の中から選び、番号を○で囲んでください。

- 1.事業を拡大する 2.事業を縮小する
- 3.新事業に取り組む 4.廃業を予定している
- 5.予定なし（現状維持）



問2 問1で1～4を選択された方について具体的にご記入ください。

1. 事業を拡大する理由（今後何年を目処に拡大を考えているかもご記入ください。）

[]

2.事業を縮小する理由（今後何年を目処に縮小を考えているかもご記入ください。）

[]

3. どのような新事業に取り組む予定ですか。

（今後何年を目処に新事業展開を考えているのかもご記入ください。）

[]

4.事業を廃止する理由（今後何年を目処に廃止を考えているかもご記入ください。）

[]

問1 貴事業所の事業活動に役立つと考える中小企業支援について該当するものを次の中から選び、番号を○で囲んでください。(○は3つまで)

- 1.人材の確保への支援 2.人材の育成への支援
- 3.後継者育成への支援 4.経営者の資質向上への支援
- 5.工場・店舗等の立地展開への支援
- 6.研究開発・新事業の立ち上げへの支援
- 7.設備・店舗等の更新への支援
- 8.財務体質強化への指導 9.事業継承・M&Aへの指導
- 10.販路開拓への情報提供 11.調達先開拓への情報提供
- 12.産学公等を含む連携先発掘への情報提供 13.新技術・ノウハウの情報提供
- 14.IT化支援 15.情報発信・商品PR 16.創業支援
- 16.その他 ()



問2 問1で選んだものについて具体的にどのような支援があればよいかご記入ください。

番号	内容
()	()
()	()
()	()

8 鳴門市の立地環境についておうかがいします。

問1 市内事業所の立地において、鳴門市が他の地域と比較して優れていると思われること、また、劣れていると思われることは何ですか。質問ごとに一つ選択し○で囲んでください。

質 問	選 択 肢		
	優れている	劣っている	どちらともいえない
1 消費地への近接性	優れている	劣っている	どちらともいえない
2 関連企業等への近接性	優れている	劣っている	どちらともいえない
3 技術力のある中小企業の集積の高さ	優れている	劣っている	どちらともいえない
4 人材の確保の容易さ	優れている	劣っている	どちらともいえない
5 地価・家賃の安さ	優れている	劣っている	どちらともいえない
6 原材料・資材の調達のしやすさ	優れている	劣っている	どちらともいえない
7 高速通信可能な環境（IT環境）	優れている	劣っている	どちらともいえない
8 生活環境の良さ	優れている	劣っている	どちらともいえない
9 自然環境の良さ	優れている	劣っている	どちらともいえない
10 市の支援・助成制度の充実度	優れている	劣っている	どちらともいえない

問2 問1の質問以外に鳴門市が他の地域と比較して優れているところ、劣っているところが他にありましたらご記入ください。

優れているところ

[]

劣っているところ

[]

9 中小企業振興基本条例についておうかがいします。

中小企業振興基本条例とは、地方自治体が地域の中小企業を重視し、その振興を行政の政策としていくことを明確化するために策定される条例です。行政の責務や市民、中小企業者の役割などを定め、地域全体で積極的に中小企業支援を推進し、地域経済の活性化を図ることを目的としています。

その条文は、地域によって様々ですが基本的に中小企業の地域での役割を位置づける「基本理念」や「中小企業振興の基本方針・基本施策」を図るうえでの「行政の責務」、地域ぐるみで中小企業を支援するうえでの「大企業・市民などの努力」などが定められます。



鳴門市では、アンケートをもとに条例の策定に取りかかり、平成28年度の施行を目標としています。

問1 中小企業振興基本条例について知っているまたは聞いたことがありますか。

1. 有 2. 無

問2 中小企業と地域との関係についてのお考えをご記入ください。

[]

問3 行政が中小企業振興に果たす役割についてのお考えをご記入ください。

[]

問4 大企業が中小企業振興に果たす役割についてのお考えをご記入ください。

[]

問5 市民が中小企業振興に果たす役割についてお考えをご記入ください。

[]

【自由意見】 鳴門市政についてのご意見をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ（切手を貼らずに）、
6月20日（金）までにポストに投函してください。

※アンケート結果を受け直接事業所訪問させていただくことがあります。その際には改めてご連絡させていただきますのでご協力よろしく申し上げます。